

# 平成26年度当初予算の

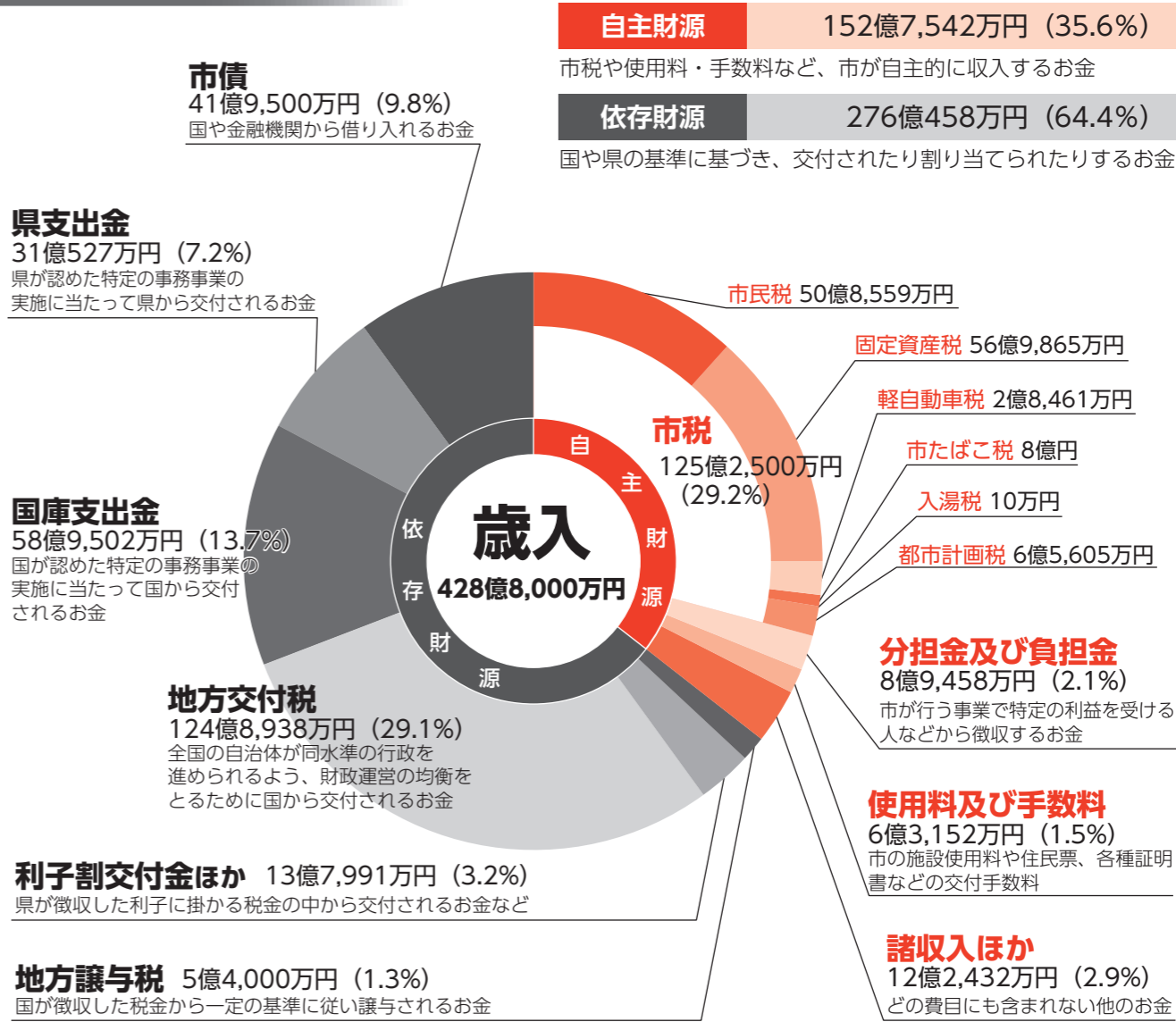
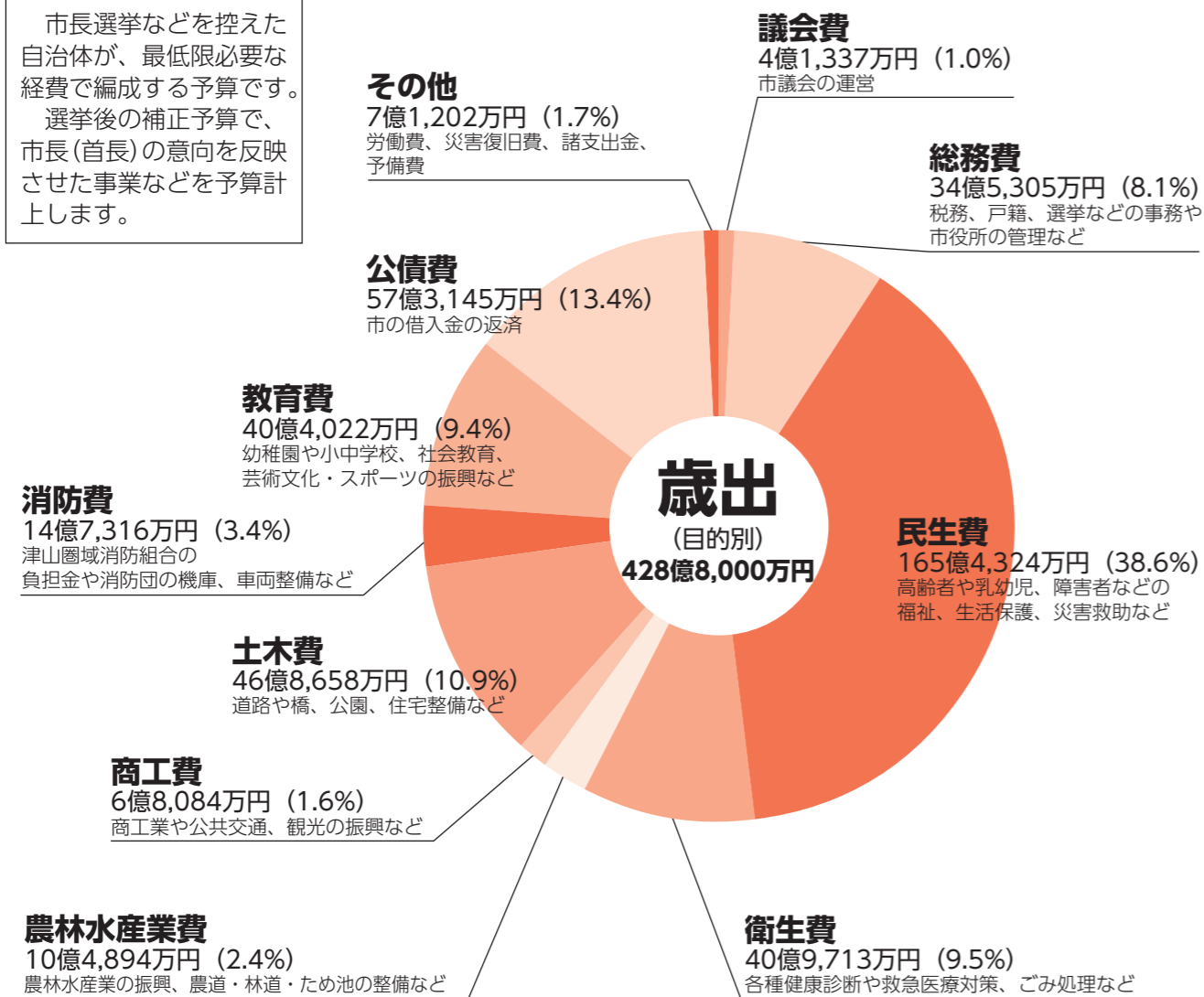
# 概要をお知らせします

財政局課（市役所6階） ☎32-2020

## 一般会計当初予算

## (骨格予算)

**骨格予算とは**  
市長選挙などを控えた自治体が、最低限必要な経費で編成する予算です。選挙後の補正予算で、市長(首長)の意向を反映させた事業などを予算計上します。



区分	予算額	構成比
人件費	73億1,601万円	17.1%
物件費	53億6,021万円	12.5%
維持補修費	2億6,701万円	0.6%
扶助費	98億5,126万円	23.0%
補助費等	51億7,259万円	12.1%
普通建設事業費	32億6,457万円	7.6%
公債費	57億2,933万円	13.3%
繰出金	51億8,711万円	12.1%
その他	7億3,191万円	1.7%
歳出合計	428億8,000万円	100.0%

**歳出のポイント**

- 扶助費は、臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金の増などにより5億7千万円(6.2%)の増
- 人件費は、支給率の改正に伴う退職手当の減、共済費の減などにより1億6千万円(2.1%)の減
- 公債費は、市債(市の借入金)の元利償還金の減により1億3千万円(2.2%)の減
- 骨格予算編成のため、普通建設事業費は12億3千万円(27.3%)の減、補助費等は4億5千万円(8.0%)の減

**歳入のポイント**

- 市税は、固定資産税(家屋・償却資産分)の増などにより1億4千万円(1.2%)の増
- 利子割交付金ほかでは、地方消費税交付金の地方消費税改正による増などにより1億円(8.1%)の増
- 国庫支出金は、臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金の増などにより1億2千万円(2.0%)の増
- 骨格予算編成のため、市債は2億9千万円(6.4%)の減、県支出金は1億4千万円(4.4%)の減

**当初予算の特徴**

骨格予算として編成  
平成26年度当初予算は、骨格予算として編成しました。政策的な判断が必要になる新規施策や補助金などは、原則として計上を見送りました。市民生活への影響に配慮しながら、義務的な経費や継続的な事業に必要な経費を中心に計上しています。

なお、今回、計上を見送っている政策的経費は、6月補正予算で計上します。